

平成 28 年度 里地里山保全利活用専門部会 実施計画（案）について

検討事項

■ 継続・拡充する取り組み

里-1 <里山の利活用> 竹あんどんづくり

- 1) 今年度の実施内容（拡充事項等）
- 2) 実施予定日
- 3) 実施場所（竹の伐りだし場所、竹あんどんづくり会場、鑑賞会場など）
- 4) 参加対象者・人数
- 5) 今後のスケジュール（事前練習、伐りだし日程など）

里-3 <里山の保安全管理> 里山保全活動体験

- 1) 実施予定日
- 2) 実施場所
- 3) 参加対象者
- 4) 周知・PR方法

■ 新規の取り組み予定

里-2 <里山の利活用> 里山アート展示

- 1) 経緯と目的
- 2) 実施予定日
- 3) 周知・PR
- 4) 和光大学の里山アートとの関わり

その他 活動の充実に向けた取り組み等

■ 継続・拡充する取り組み

里-1 「里山の利活用」 竹あんどんづくり

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地域の広町特別緑地保全地区の竹を活用し、地元小・中学生とともに、竹あんどんづくりを実施 ・将来的に地域のお祭りやイベント利用も想定 <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 【地場材の活用】黒川地域の緑地保全管理で伐採した竹材の活用 【地域交流】竹行燈づくりによる地元の子供との交流 【景観づくり】竹行燈を使った地域の魅力づくり
実施体制、対象者等		<p>主催：黒川竹行燈の会、川崎市みどりの協働推進課</p> <p>協力：明治大学</p> <p>対象者：地元の小中学生（小学生は保護者同伴）</p>
実施内容	実施予定日	平成 28 年 11 月 12 日（土）収穫祭
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の伐り出し：黒川広町緑の保全地域 ・竹行燈づくり：農業用管理倉庫
	周知・PR	地元の小学校へのチラシの配布
	内容	<p>①竹行燈づくり（参加費無料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の小中学生と竹行燈を作る。（制作した竹行燈は参加者が持ち帰る。） （今後に向けて：制作した竹行燈を汁守神社の参道などに設置し、地域の魅力づくりにつなげていくことを検討。） <p>②里地里山の保全活動に対する意向調査（保護者の方向け）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の参加申込時に、保護者の方向けに、里地里山の保全活動への参加意向などを調査し、今後実施する保全活動体験イベントへつなげる。
	予算等	チラシ印刷費、材料費等
その他		-

〈昨年度の様子〉：竹行燈づくり 指導者向け事前講習会の報告

実施日：平成 27 年 10 月 13 日（火）

実施場所：農業用管理倉庫 参加者：地元の方 10 名、三谷教授（専門部会長）、事務局 3 名

実施内容：11/7 の本番に、子どもたちに指導できるように、事前に竹行燈づくりを覚える



農業用管理倉庫



作り方の説明



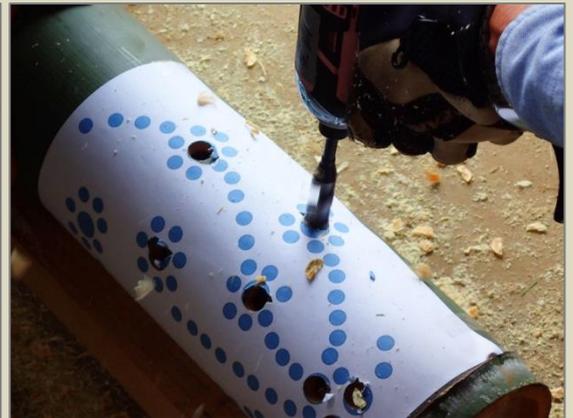
見本



底を平らに切る



裏側の穴あけ
(LED ライト用)



表側の穴あけ



穴あけの様子

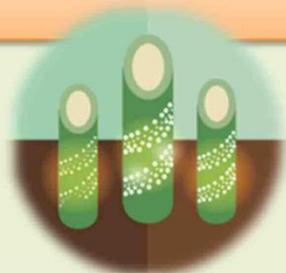


試作品の完成

〈昨年度の様子〉：竹行燈づくり 本番-①

地元の竹を使って

たけ あん どん
 ～竹行燈をつくろう～



○本日の流れ

時間	内容
9:00～ 9:15	集合、開始のあいさつ、移動
9:15～10:00	竹の切出し、移動
10:00～11:30	竹行燈制作
11:30～11:45	鑑賞会
11:45～12:00	終了のあいさつ、収穫祭へご案内

○作り方

No.	作業	道具	作業者	イメージ	No.	作業	道具	作業者	イメージ
1	竹を切り出す	チェーンソーのこぎり	指導者 参加者 代表		5	キャンドル設置用の穴をあける	自在きり	指導者	
2	切出した竹を運ぶ（緑地の入り口まで）	なし	参加者		6	あける穴の目印となる型紙を行燈に貼り付ける	セロテープ	参加者	
3	切出した竹を竹行燈1個分のサイズに切断する	チェーンソー	指導者		7	穴をあける	ドリル	参加者	
4	行燈の底と上をカットする	のこぎり	参加者		8	キャンドルを取り付ける	なし	参加者	

当日のしおり
 （竹行燈づくりの流れ、作り方）

〈昨年度の様子〉：竹行燈づくり 本番-②

【広町緑地】

①竹の切り出し



②竹の運び出し



【農業用管理倉庫前】

①行燈の底と上をカット



②ドリルで穴あけ



【完成品の鑑賞会（農業用管理倉庫内）】



【里山保全活動体験に向けての意向調査】

調査日：平成 27 年 11 月 7 日（土）

回答者：竹行燈づくりの保護者 12 名

質問① 今後このようなイベントに子供を参加させたいか
参加させたい : 12 名 (100%)

質問② 大人向けの里山保全活動の参加について
参加したい : 6 名 (50.0%)
予定があれば参加したい : 5 名 (41.6%)
参加したくない : 1 名 (8.3%)

質問③ イベントのご案内の送付について
案内を送って良い : 12 名 (100%)
(上記のうち、メールでの案内を希望 : 1 名)

里-3 <里山の保全管理> 里山保全活動体験

計 画

概要・目的		<p>概要 里山での保全活動体験（草刈りや竹伐りなど）を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討</p> <p>目的 【里地里山の保全】黒川地域の里地里山環境の保全につなげる 【担い手づくり】将来的な担い手づくりに向け、黒川地域の里地里山を保全する人材を発掘・育成していく</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：地元農業者、川崎市みどりの協働推進課 協力：明治大学黒川農場 対象者：地元住民、明治大学学生</p>
実施内容	実施予定日	（仮）平成 28 年 12 月 17 日（土）
	実施場所	黒川地域（未定）
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・（里－1）竹行燈づくりに参加した保護者への呼びかけ ・麻生区、川崎市の広報やHPなどを活用した募集案内など
	内容	<p>◆主な活動内容：下草刈り（アズマネザサ等の除伐）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里地里山の保全活動の一環として、緑地に繁茂している下草（アズマネザサ等）を刈る。 <p>◆活動のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ササ刈りで雑木林が明るくなり、安全で生物多様性の高い里山がよみがえる。 ・手鎌や竹用ノコギリを使ったササ刈りは誰でも参加でき、短時間でも成果が出て、達成感が得られる。
	予算等	－
その他		－

〈補足〉里山保全活動体験（ササ刈り体験）

【ササ刈りのようす（黒川丸山特別緑地保全地区）】



準備体操



A班（親子・初心者）
の作業風景



B班の作業風景



C班の作業風景



作業後の緑地



道具の手入れ



作業前



作業後

【散策（黒川海道特別緑地保全地区）】



散策



閉会式